

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	男女共同参画交流の広場運営事業				事業番号	007-039	
担当部署名	市民人権局	局	ダイバーシティ推進部	部	ダイバーシティ企画課		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	—	施策	—	
			無	取組の方向性	—			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(5)ジェンダー平等を実現しよう	ターゲット	5.1	
			有	取組	男女共同参画に関する啓発			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	・第5期さかい男女共同参画プラン（計画年度：令和4年度から令和8年度）		
3	事業開始年度	平成 12 年度	点検対象年度（個別計画）	令和 8 年度
4	実施根拠	・男女共同参画社会基本法 ・女性の職業生活における活躍の推進に関する法律 ・配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 ・堺市男女共同参画交流の広場規則 ・堺市男女平等社会の形成の推進に関する条例		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	全市民	対象数	単位
			804,163	人
7	事業の目的	堺市男女共同参画交流の広場の運営を通じて、男女共同参画社会の実現に向けて活動する個人やグループの活動支援を行い、相互交流を促進することを目的としている。また、日々の暮らしの中で不安や悩みを抱えている人が、相談することで気持ちや感情を打ち明け、整理し、いきいきと自分らしく生きるための契機となるよう、相談事業を実施する。		
8	事業内容	・男女共同参画に関して活動する市民グループの活動の場やネットワーク形成のための交流の場として、オープンスペース・相談室（相談室は相談日以外）を市民に提供し、また、図書・ビデオ（DVD）の館内閲覧や貸出などによる情報提供を行う。 ・相談業務（カウンセリング業務）については、日々の暮らしの中で不安や悩みを抱える女性を対象とした「女性の悩みの相談」、同様に悩みを抱える男性を対象とした「男性の悩みの相談」を実施する。 ・DV被害者同士が安心して自らの悩みや体験を語り合うことで、被害者自身の気持ちや感情を整理し、DV被害からの回復を図る「DV等被害者支援交流会」事業を実施する。 ・SNS等を活用し、男女共同参画交流の広場に関する情報発信を行い、利用を促進する。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—		
9	主な支出先	有限会社フェミニストカウンセリング堺		
10	公民連携・協働事業	—		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	年間利用者数	人		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度
			目標値	2,000	2,200	2,200	2,200
			実績値	1,613	1,609		
			達成率	81%	73%		
当該指標を選定した理由		施設の利用により男女共同参画に関するネットワーク形成のための交流・活動の場を提供できた人数を確認することができるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		SNS等による情報発信を強化することで施設利用者数の増加を見込み設定。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	相談件数	件		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	567	567	567	
			実績値	430	405		
			達成率	76%	71%		
当該指標を選定した理由		相談に対応することで、相談者にとって自分らしく生きるための契機になり、年間利用者数の増加に寄与するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		女性の悩みの相談・男性の悩みの相談の最大枠数（年間）。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	男女共同参画交流の広場運営事業	事業番号	007-039
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	6,986	7,374	7,401	7,425	7,452
	財 源					
	国支出金	0	0	80	0	80
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	6,986	7,374	7,321	7,425	7,372
14	人件費（b）	2,950	3,490	3,660	3,660	3,810
15	年間経費（c）=(a)+(b)	9,936	10,864	11,061	11,085	11,262

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	謝礼金	R7	決算	0	0	物品修繕費	R7	決算	42	42
		R8	予算	41	41		R8	予算	0	0
	消耗品費	R7	決算	0	0		R7	決算		
		R8	予算	10	10		R8	予算		
	通信運搬費	R7	決算	38	38		R7	決算		
		R8	予算	41	41		R8	予算		
	男女共同参画交流の広場運営業務等委託料	R7	決算	7,279	7,279		R7	決算		
		R8	予算	7,280	7,280		R8	予算		
	その他備品購入費	R7	決算	66	66		R7	決算		
		R8	予算	80	0		R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① 年間利用者数	人	1,613	1,609
	② 上記①にかかる年間経費	千円	10,864	11,085
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	6,735	6,889
	算出についての説明等		男女共同参画交流の広場運営に係る経費（人件費含む）	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和7年度は、1,609人の様々なグループや個人が当施設を利用した。本事業にかかる運営手法等について検討、事業者との打ち合わせを定期的に行ったことから、人件費が増加し、年間経費は前年度より増加した。一方で、令和6年度と比べて施設利用者数全体は微減となった。これは新規の相談利用が伸び悩んでいることが要因として考えられる。施設の認知度向上については、近隣施設である東文化会館での啓発事業の際に、チラシの配架を行う等新たな周知を行った。引き続き、施設の認知度向上と利用促進を図るため、運営手法の見直しや市民に向けた施設情報の発信を定期的に行う。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	○男女共同参画に関する活動を行う市民グループに活動やネットワーク形成のための交流の場の提供や男女共同参画に関するイベント等の情報提供等行うことで、地域におけるジェンダー平等をけん引するグループの活動の支援に寄与した。 ○相談事業では、相談者から寄せられる様々な悩みに対して、ジェンダーの視点を持ってカウンセリングを行い、日常の不安や悩みの解消だけでなく、適切な支援につなげることができた。 ○DV等被害者交流会事業では、DV被害者の自立や心身の回復を図るために、被害者同士が自らの悩みや体験を語り合う交流会を実施するなど、相談者自身による問題の解決と心身の回復の支援につなげることができた。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	相談のニーズは一定あり、性犯罪・性暴力の被害など内容によっては潜在化しやすいため、相談の機会の確保は必要である。 また、男女共同参画に関する活動を行う市民グループについて、市民団体の活動は不可欠であり、支援しながら継続する必要がある。登録数は減少し活動の担い手は減っているものの、新規登録もあり、波及効果があると考えられる。 男女共同参画交流の広場の認知度は上っており啓発の成果はある。毎年新規相談についても一定数あり支援に繋がっている。
	有効性	■ 高い □ 低い	